

海外ビジネスレポート Vol.17

～中国・蘇州編～

2018.08.24

蘇州駐在員事務所 勢志 昌樹

<今回のコンテンツ>

特集 / 企業インタビュー ～付加価値のある物流品質を提供～ 「Ever Gain Co., Ltd」様

特集

中国のビジネス環境は、日々と言ってよいほど、目まぐるしく変化しています。また、進出しているか否かに関わらず、中国でビジネスを行う企業は、現地での正確な情報収集をいかにすべきか、また、得た情報をもとにどのように事業を展開していくべきかを常に考えておられるかと思えます。

今回の海外ビジネスレポート中国・蘇州編は、日本に拠点を持たず中国現地で活躍しておられる日系の物流企業「Ever Gain Co., Ltd」様へのインタビューです。

国際・国内物流拠点として拡大が見込まれる太倉港に拠点をもち、幅広い製造関連企業と接点をもっておられる「Ever Gain Co., Ltd」様ならではの、中国でのビジネスに関するお話を伺いました。

香港・中国で設立した日系物流会社

ー 御社の概要をお聞かせください。

当社は、代表者である小寺基之が、1978年に香港で設立し、今年で40周年を迎える日系物流企業です。現在、香港/華南/華東地区で3大物流センターの運営を行っております。

香港では4棟の倉庫ビル及び1棟のオフィスビルを建築し、本社として自社利用する他、日系・香港系・外資系企業にご利用頂いております。

華南地区は、広東省東莞市に約35万㎡の土地を確保し、25万㎡の一般倉庫と保税倉庫を建設後、倉庫業務を中心とした物流業務を展開しております。



【立林総経理、蘇様】

又、広東省で唯一の輸入完成車の認可港である「新沙港」に隣接しており、当社物流施設内には、輸入完成車を1万台程保管しているほか、大手EC企業にも対応出来る倉庫を建築中です。

華東地区では、江蘇省太倉市に2007年「太倉永昌物流管理有限公司」を設立、太倉港に隣接された約19万㎡の敷地を確保し、物流施設の建設と開発を行っています。

又、太倉港物流エリアで、一般倉庫と総合保税区内(※1)倉庫の3PL業務を展開中で、太倉港での国際船手配と併せたサービスを荷主へ提供しております。

(※1)「保税」とは：関税の徴収を一時留保することを指す。

「保税区」とは：国際線の飛行機や外国船が発着する空港や港湾の近隣に設置されており、輸出入の許可が下りるまでの期間、貨物を蔵地する為の特別地域。

保税区にある間は、課税が猶予される。



池田泉州銀行

S I H D

太倉市及び太倉港の特徴について

—太倉市・太倉港についてお聞かせください



【太倉港外観】

太倉市は、人口約 95 万人が居住、外資企業は、日系企業約 150 社、ドイツ系企業約 230 社、台湾系企業約 440 社が進出しており、太倉市内で生産される主な品目は、自動車・自転車のパーツ、アパレル、家具、化学品、電子部品等があり、近年日系大手メーカー工場が上海から移転し、自動二輪車の製造も開始しました。交通網も上海・蘇州市内へは車で約 1 時間程度に位置し、物流にとっても非常に利便性が高い立地といえます。

太倉港は年間 430 万 TEU (※2) の取り扱いを誇り、日本の主要港よりも荷量が多く、2022 年までに 2,000 万 TEU まで対応可能な港湾設備を増設中です。

太倉港からは、長江を通じて南京・武漢・成都への物流網が整備され、国内輸送のインフラも整っております。

また、国際便は日本・台湾・韓国・ベトナム・タイ・香港向けの便が運航され、アメリカやヨーロッパ向けの港である洋山港(上海)へも、太倉港からフィーダー船が運行されております。

__ (※2) 「TEU」とは：20 フィートコンテナを 1 単位として港湾が取り扱える貨物量を表す単位。

—太倉港において通関はスムーズにいくものなのでしょうか？

太倉税関は、非常に協力的で対応が早いのが実感です。上海港税関で止められたものが太倉港では問題がなかったり、上海であれば毎回検査になってしまうような貨物も、太倉だとスムーズに対応出来たりもします。このような状況で、上海港から太倉港にシフトされるお客様が増えてきました。上海は世界一の取り扱いを誇る港で、一日の通関件数は数千件単位にも上り、通関の遅延や問題がしばしば発生する事があります。又、直接税関と交渉出来る物流会社も限られております。

太倉の場合、当社が直接太倉税関と話をすることが出来、臨機応変に対応してもらえる事が多く、太倉ならではのメリットと考えております。

日系企業との取引が、ほぼ 100%

—御社の客層は日系企業が多いのでしょうか？

そうですね。日系メーカー・商社は勿論、太倉港物流エリアでいち早く物流業務を展開してきたということもあり、日系同業他社からの委託を受けるケースもあります。

因みに当社は、高品質な物流サービスに注力した結果、日系企業との取引がほぼ 100% となっております。

各荷主の商品形状や品質基準が異なってきますので、それぞれのご要望にお応え出来るきめ細かなサービスを提供すべきと考えています。

物流の品質を落とせば事故に繋がる大きな原因となります。当社としては品質と安全を提供していくことがサービスの付加価値であり、中国系物流会社との差別化を發揮できる



池田泉州銀行

S I H D

セールスポイントです。

—中国企業についてはいかがでしょうか

ここ最近で、中国企業からの引き合いも増えてきておりますが、結果的には当社のきめ細やかなサービスを買って頂ける顧客は日系企業が中心という状況です。

今後の中国ビジネス環境は益々変化

—ビジネス環境の変化は感じられますか

中国で展開する中で、他業種同様に年々コストが上昇しているのは事実です。日々コストに対する問題意識を持ちながら品質を維持できる様に取り組んでおります。

ここ数年で、上海・蘇州地区で生産を行っていた工場が、土地の賃料引き上げ・環境規制・都市開発の影響で、近隣都市の太倉・昆山・常熟等へ移転してきました。

当社としては、各企業に物流サービスを利用して頂く機会も増え、チャンスと捉えております。

ただ、江蘇省に関して言えば、今後もコストの上昇の影響で、更に北部へ生産拠点を移していく企業が増えていくのではないかと推測しております。

今後の展開としては、物流会社が飽和状態の大都市部よりも、生産メーカーの、(移転)候補先エリアに物流インフラを整え、サービスを提供していくことが重要なのではと、考えております。

今後のビジネス展開

—今後はどのようなビジネス展開を考えられていますか

お膝元の太倉港でのビジネス拡大を目指す一方で、先にも申し上げた通り、日系企業が今後進出していくであろう、江蘇省の北部や内陸と呼ばれる西部でのビジネス展開も考えていく必要があります。

当社としては、地域特化型の特徴があるサービスを顧客へ提供し、他社との差別化を図りながら成長していきたいと考えております。

定期的に日本へ出張し PR 活動も行っており、中国における物流サービス等の案内でセミナー開催や個別訪問等でご提案もしておりますので、ご要望があれば是非、ご用命下さい。



【ご連絡先】

太倉永昌物流管理有限公司 (Ever Gain Co., Ltd)

中国江蘇省太倉市浮橋鎮北環路9号 TEL (+86) 512-5371-0358

総経理：立林 航 Mobile: (+86) 139-1375-7166

E-mail: tatebayashi@e-gain.com.hk

営業主管：蘇 盈冰 Mobile: (+86) 180-3615-0733

E-mail: suyingbing@e-gain.com.cn

対応言語：日本語、中国語

最後に～インタビューを終えて～

中国では今後もコスト上昇が続いており、日系企業の東南アジア方面への進出が活発であることは確かだが、依然、中国における需要は拡大を続けていくと考えられる。

そのような中、中国内の物流事情を見ると、中国系物流企業の品質は、まだまだ日系には追いつかないレベルにあると感じる。

また、物流業界に限らず、中国では、これまでのコストメリットが縮小する中で、付加価値のある製品、サービスを国内で積極的に展開している日系企業が生き残り、発展しているのも事実である。

同社のように、日本に拠点は無いものの、中国の物流業界で根を張り、将来を見据えながら、品質の高いサービスを提供している企業の活動は、今後の中国ビジネスを考える上で非常に参考になるのではないのでしょうか。



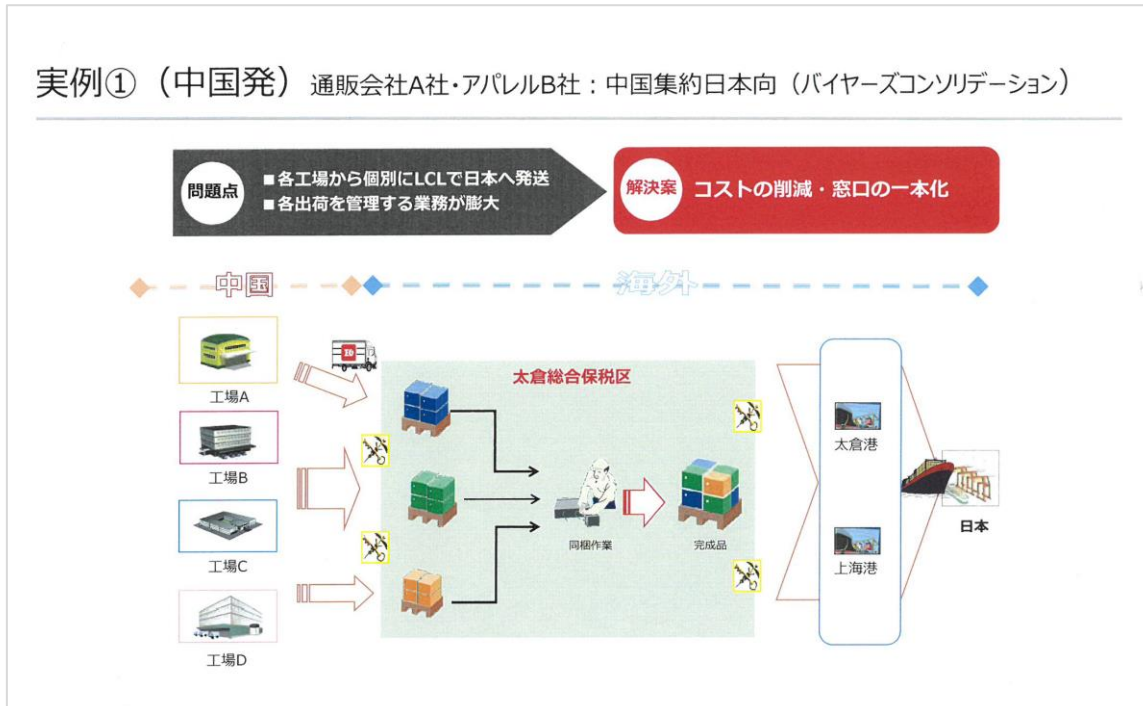
<上海港と太倉港の機能比較>

		太倉港/総合保税區	上海港/外高橋物流園區
規模	貨物取扱数	約 500 万 TEU	約 3,800 万 TEU (世界第 1 位の取扱数)
	コスト		
コスト	倉庫	上海の約 7~8 割	価格上昇傾向
	海上運賃	上海港の中堅船会社と比較しても安価	サービスレベルは多種多様
	人材	人件費は安価 優秀な人材の確保が難しい場合がある	年々人件費高騰 中国全土から優秀な人材を確保しやすい
物流	国際輸送	東京・大阪・名古屋・神戸・博多・門司 ※上記、全ての港に定期便あり	船会社の選択肢が豊富。 荷主の選択肢が多い。
	税関	港税関及び政府との個別交渉が可能 柔軟性が高く、融通が利く	税関組織が巨大である為、個別交渉が困難
	周辺都市への輸送	渋滞が少ないことから上海港からの輸送は比較的スムーズに行なうことが出来る	上海市内通過時に渋滞等で時間のロスが発生する場合が多い
将来性	港湾	港湾拡張計画が進行中	ピーク時には処理能力を超えてしまうことも。 一部、航路を太倉港へ移管。
	その他	港湾エリア付近の保税及び国内倉庫を活用することで、付加価値の高い物流の提供が可能	金融・貿易・物流の規制緩和が期待される

(※) 「Ever Gain Co.,Ltd」様ご提供資料を元に作成

実例①

当初、中国各工場で生産した商品をバラバラに日本へ出荷。それぞれ輸入された商品を日本の物流センターに保管し、各店舗に配送していた。輸送及び保管コスト削減と物流窓口の一本化に対応すべく日本の物流センターでの保管を最小限にし、中国の保税倉庫に商品を置くという手法に切替えを提案。



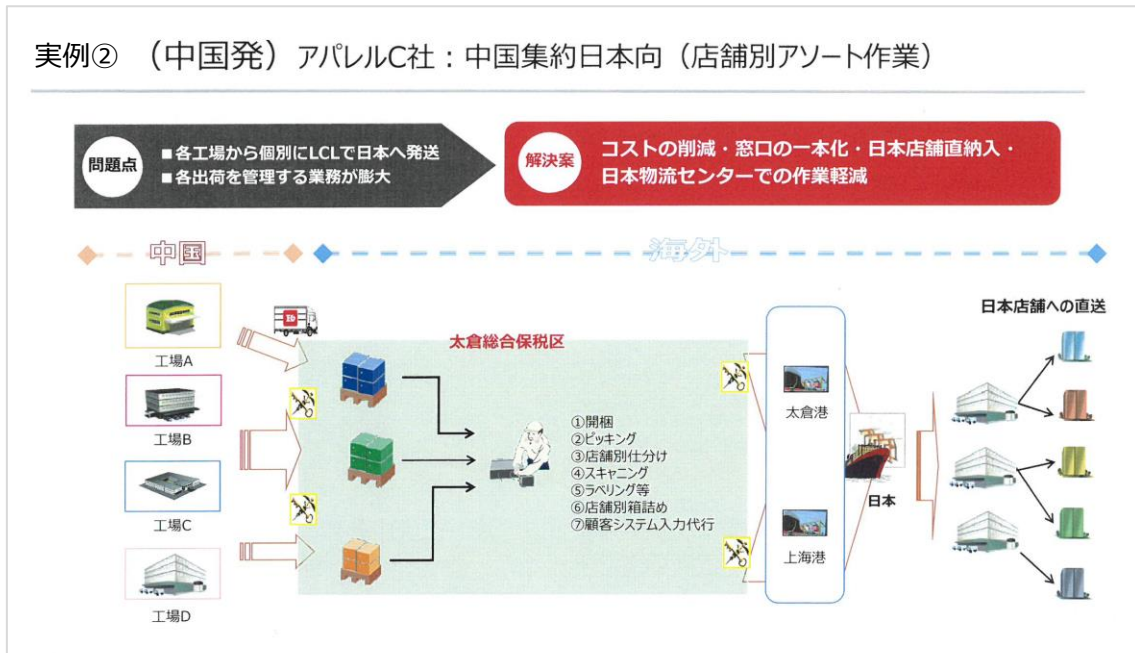
※「Ever Gain Co., Ltd」様ご提供資料

<メリット>

- 日本の倉庫費用等コストが高い為、中国の保税倉庫に商品を置くことにより、コストのミニマイズが図れる。
- これまで各工場が各々輸送会社を指定しており、それぞれで輸送費と通関費用が掛かっていた所、中国の保税倉庫に一本化、出荷することでオペレーションを簡便化。

実例②

当初、日本で行っていた各店舗への配送仕分けを全て中国保税倉庫で行うことにした事例。実例①と同様、日本のコストが高い為、作業を保税区内で各中国メーカーから入ってきた商品を、開けてピッキングし、店舗別に梱包仕分けをし、出荷。現在、約 300 店舗に振り分ける作業を行っている。



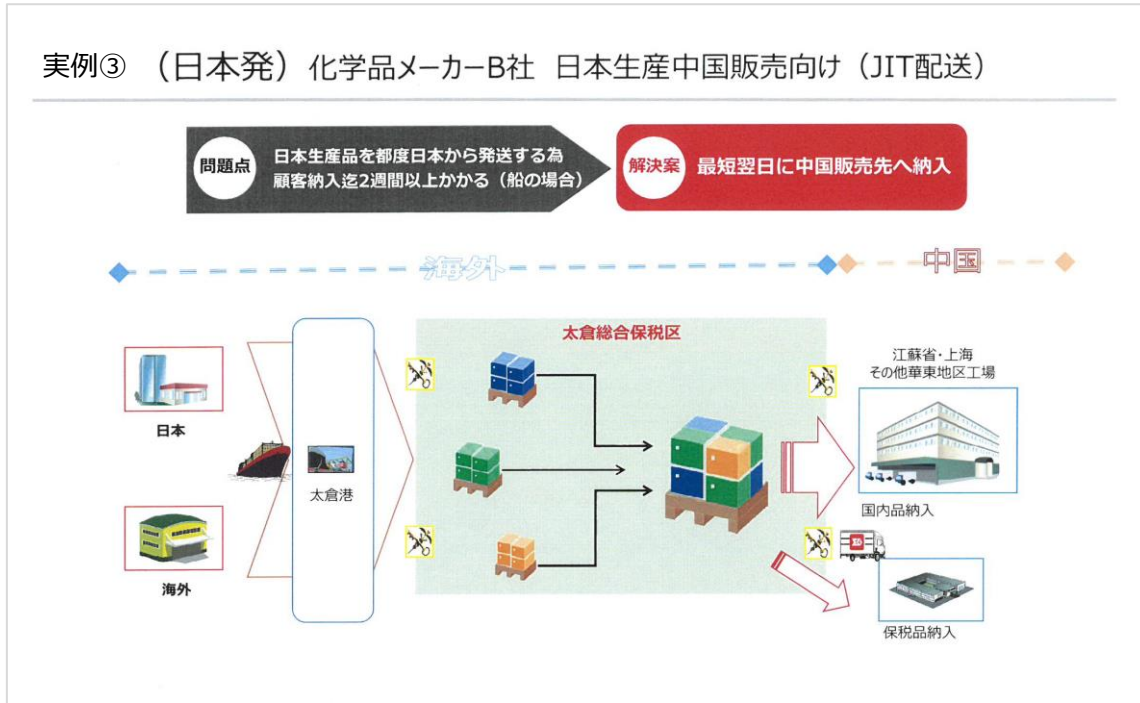
※「Ever Gain Co., Ltd」様ご提供資料

<メリット等>

- 中国側で店舗別商品仕分けを行い梱包、日本店舗まで直送する為、日本側でのコストを大幅に削減。
- 尚、当社と同様のスキームで対応している物流会社は、非常に少ない。太倉では当社だけであり、上海・蘇州地区でも、事例は少ない。
- 特にアパレル C 社では、コスト削減モデルとしてプレスリリースしており、この影響で、他のアパレル業界企業からの引き合いが非常に増えている。

実例③

日本で生産した材料を、直接販売先の中国に納入するのではなく、一旦、保税倉庫に保管。販売先が確定しない商品を発注が入るまで保管し、発注を受ければ個別に出して行く手法。



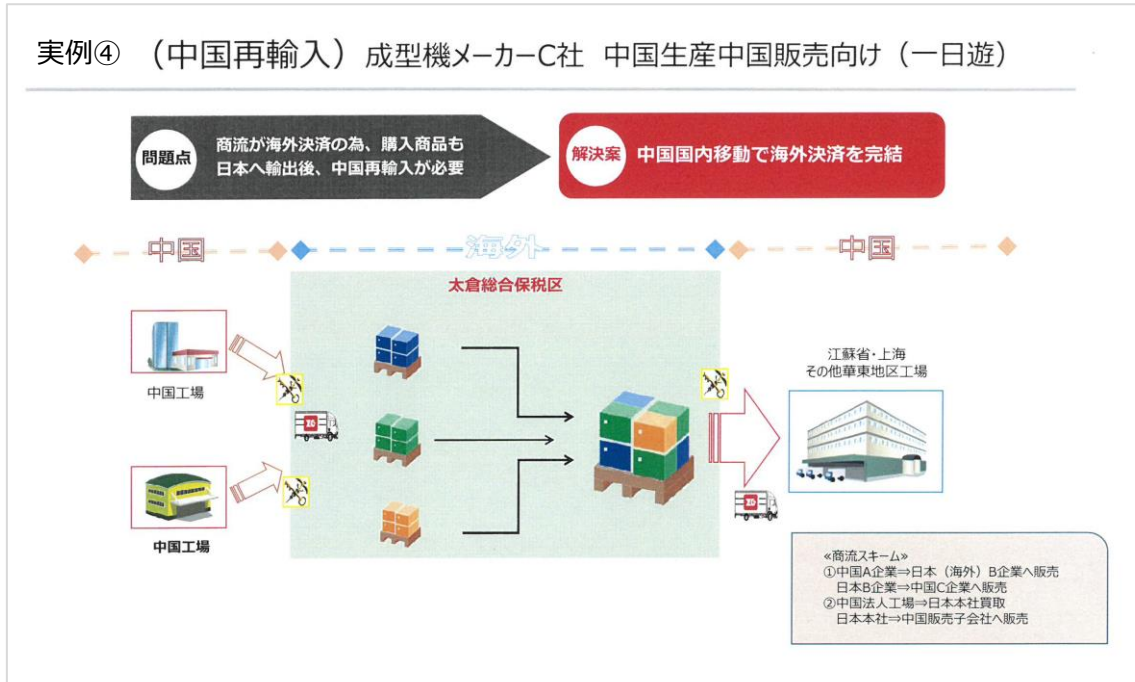
※ 「Ever Gain Co.,Ltd」 様ご提供資料

<メリット>

- 保税倉庫では、販売先が確定するまで日本名義（資産）で保管が可能。
- 本来、発注を受けた後、日本から船で配送すると販売先まで 2 週間程度掛かるが、保税倉庫に保管しておけば、商品自体は既に中国にある為、発注を受けて 2 日以内に顧客へ配送することが可能。販売先により近い場所で、日本名義で在庫保管を行う手法。
- 特に化学品材料メーカー等での取り扱い事例が多い。

実例④

中国で生産した商品を、一旦、日本本社が買い上げ、再度、中国へ販売するケースが最近非常に多い。本来、中国と海外の海外決済になるのですが、海外決済をする以上、商品は一旦、中国の外に出す必要がある。保税区を活用することで、二重の輸送コストを解消。



※ 「Ever Gain Co.,Ltd」様ご提供資料

<メリット>

- 中国→日本→中国の輸送で、二重の運賃コストが掛かっていた所、保税区を活用することで、トラック一台で対応が可能、大幅なコスト削減を実現。
- 日本本社の売上計上を考え、一旦、中国から日本へ商品を買上げ、再度、日本から中国へ販売する商流をしておられる企業も多い為、保税区の活用は有効となる。

<補足>

- 中堅・中小企業では、海外の保税区について、難しいイメージを持っている部分は否めない為、今後も活用事例等をPRしていく必要がある。



<海外ビジネスに関するご相談先>

株式会社池田泉州銀行 アジアチャイナ推進部（大阪市北区茶屋町18-14）

TEL：06-6375-3491 受付時間／平日9：00～17：00

- 1.このレポートの内容は、情報の提供を目的としたものであり、本レポートに関連して生じた一切の損害について、株式会社池田泉州銀行（以下「当行」という）および当行グループは責任を負いません。また、本レポートで紹介した企業の信用を保証するものではありません。ビジネスに係る最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- 2.このレポートに記載されている情報には公開情報、「Ever Gain Co.,Ltd」提供資料からの引用および著者の個人的見解が含まれております。かかる情報の正確性・適切性等について当行および当行グループは何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 3.このレポートの内容は、お客様限りでご使用下さい。当行および当行グループの事前承諾なく、本レポートの全部若しくは一部を引用または、複製、転送等により使用することを禁じます。



池田泉州銀行

S I H D